

不具合報告への動画活用

株式会社 フォーラムエイト
TestGroup

はじめに

「動画」の意味

アプリケーションに対する
デスクトップ上での操作手順を
録画したアニメーション



概要

- ・なぜ動画を使うようになったか？

背景と動機

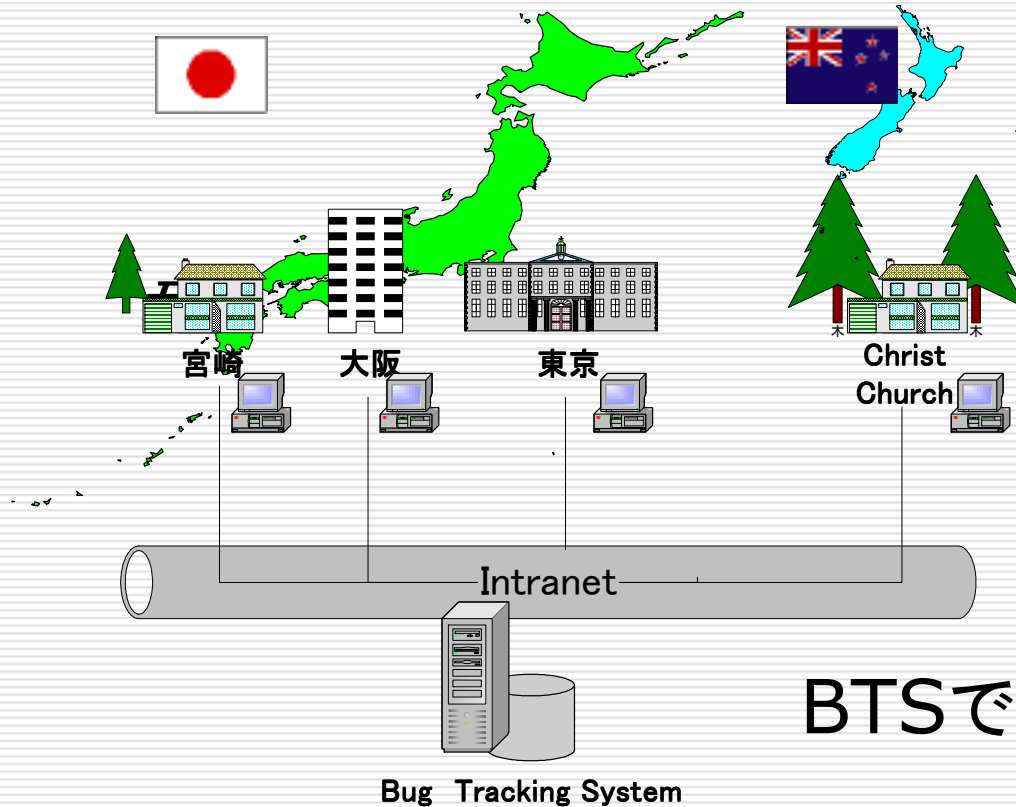
- ・利益不利益

動画を使用するメリットと問題点

- ・作成のコツ

分かりやすくコンパクトな動画を作成するポイント

背景



国内外に
開発者・テスト
技術者が分散

BTSで不具合情報を共有

動機

不具合報告作成コストが高い
(報告作成に非常に時間がかかるBugがある)

特に(外国人)Internationalスタッフ向けの報告に顕著
理由

- ・コミュニケーション能力(英語力)の問題
(典型的な回答: **unable to reproduce**)
- ・アプリケーション固有の問題
(たまたま3D系ソフトウェアの開発担当だった 等)

メリット

- ・報告作成コスト低減

 - * 作成に要する時間の減少

- ・操作手順の確認容易性

 - * 動画では操作説明手順に漏れが発生し得ない

- ・問題点の明確化

 - * 考慮すべき要素(アプリの状況)がすべて見えている



不具合の原因を推測しやすい

問題点

二次利用に対する硬直性

- ・別システムへの転用が困難
(情報を流用し辛い)
- ・テキストをコピー&ペーストするようにはいかない

より効果の高い適用先

- ・3D系ソフトウェア

- * ユーザーインターフェース／描画／動作の自由度が高いもの

- ・外国人(International)スタッフ

- * 言葉の障壁が存在する相手

キャプチャソフト

CamStudio (Freeware)



- <http://cowscorpion.com/dl/CamStudio.html>
お勧め。Flash形式への変換もできる。

SnagIt (Product)



- <http://www.techsmith.com/>
静止画、文字列抽出等も備えた多機能キャプチャソフト

作成のポイント(設定編)

ファイルサイズの縮小に主眼を置く

- ・Codec

圧縮率が良く、別途Codecのインストールを
要求しないもの。現状では下記が無難。

- ・Microsoft MPEG-4 Video Codec V2

場合によってはFlash形式も考慮

- ・FPS(フレームレート)

10~20FPS程度で通常十分。
オーバースペックにならないこと。

作成のポイント(録画時操作編)

基本的には下記に留意

- ・簡潔、かつ明瞭な操作

具体的には

- ・不要な操作のカット
- ・ポインティング(クリック)位置の明示
- ・マウス移動動作の簡潔化
- ・録画領域の検討